

# 八里 (やさと)

登録番号：第2532号

登録年月日：平成2年12月5日

登録者：農林水産省果樹試験場

(茨城県つくば市藤本2-1) 来

育成者：町田 裕 壽 和夫 梶浦一郎

佐藤義彦 小園照雄 金戸橋夫

清家金嗣 志村 勲 大村三男

阿部和幸 栗原昭夫 緒方達志

歴：「八幸」と75-23 (二十世紀×  
リ-14) の交雑実生

## 特 性

### ■栽培特性

樹勢は強く「二十世紀」程度である。枝はやや太い。幼葉は毛茸が少なく、濃い赤褐色を呈し、他の品種と識別が容易である。えき花芽の着生は中程度、短果枝の着生は中からやや多く、その維持は容易である。

開花期は「八雲」、「筑水」、「幸水」と同時期かやや遅い。「秀玉」、「幸水」、「おき二十世紀」、「二十世紀」、「長十郎」等と交雑和合性である。

### ■果実特性

早生の青ナシである。果形は円楕円形でやや不整形であり、玉揃いが乱れることがある。果色は緑黄で完熟果では黄色になる。さびの発生は少なく外観良好である。1果平均重は250~280gであるが「筑水」、「新水」と比べ大玉果の割合が多い。果肉硬度は「幸水」、「二十世紀」と同程度で、肉質は緻密で軟らかい。果汁の屈折計示度は、12%前後で「幸水」と同程度である。pHは概ね4.8前後で「新水」と同程度であるが、食味上は酸味はさほど強くなく、渋味も感じられない。収穫期は概ね九州地方では8月上旬、関東地方では8月中旬で「筑水」、「新水」とほぼ同時期である。収穫期後半に水浸状果の発生が認められることがある。また、年によっては収穫前落果が認められることがある。果実の日持ち性は、25℃のもとで7日程度である。

### ■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

黒斑病抵抗性で、えそ斑点病には病徴非発現性である。黒星病やその他の病害に対しては、赤ナシの慣行防除で対応が可能である。

本品種は、水浸状果の発生および収穫前落果が認められることがある。この対策としては収穫期が進むにつれてこれらの症状が増加する傾向があるので、収穫適期を把握して採取する。

樹勢は強く、枝の伸長も旺盛なほうであるが、紫変色障害の発生が認められるので、特に幼木期には徒長的な生育状態にならないように注意し、樹勢を適正に管理する。果肉硬化障害が一部地域で認められており、排水不良園や、乾燥しがちな園では栽培を避けるべきである。

### ■地域適応性

品質優秀で、黒斑病抵抗性であることから全国のナシ栽培地帯に適応し、「八雲」や「新世紀」に置き換わって普及すると予想される。また、食味が優れ、果形にも特徴があることから、赤ナシ栽培地帯でも対面販売方式を中心に取り入れることも一つの有利な経営戦略と考えられる。

(寺井理治)